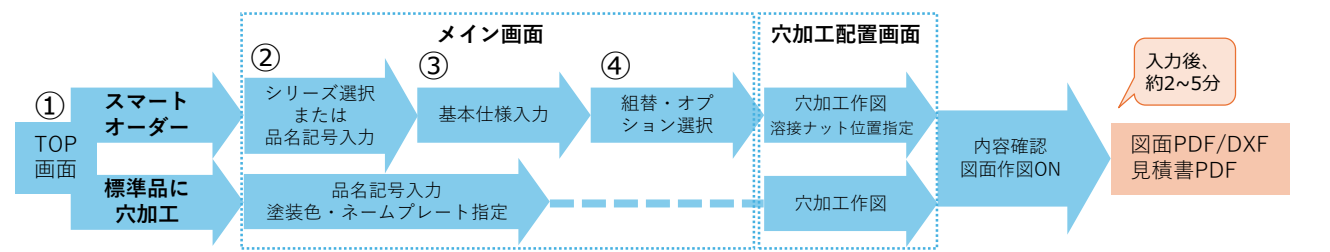


キャビスタ操作クイックガイド

■はじめに
 ブラウザーの**ポップアップブロックが解除**されていないと動作しません。また、Googleツールバー等にもポップアップブロックの設定がある場合は解除してください。
 Microsoft Edgeにおいてオートコンプリート機能でネームプレート欄に**意図しない情報が自動入力**されてしまう事象が確認されています。図面作図前に入力内容を今一度ご確認ください。
 ブラウザーの「戻る」「進む」ボタンは使用しないでください。

推奨ブラウザは、Microsoft Edge（最新版）、Google Chrome（最新版）です。Safari、Firefoxについても原則最新版で利用可能です。ブラウザの拡大率は100%でご利用ください。
 本資料は2025年12月時点のジャストライン版キャビスタの画面・機能にて作成しています。予告なく仕様や機能をアップデートする場合がありますのでご了承ください。N-TEC版キャビスタはお試し版であり、一部に機能の制約があります。
 キャビスタ稼働時間について・サーバーメンテナンス時、長期休暇等を除き、原則24時間365日作図可能です。ただし23:30～06:30は作図入力は可能ですが図面作図を行っておりません。06:30以降の完成となります。

■作図開始から図面・見積書完成までのステップ



① TOP画面



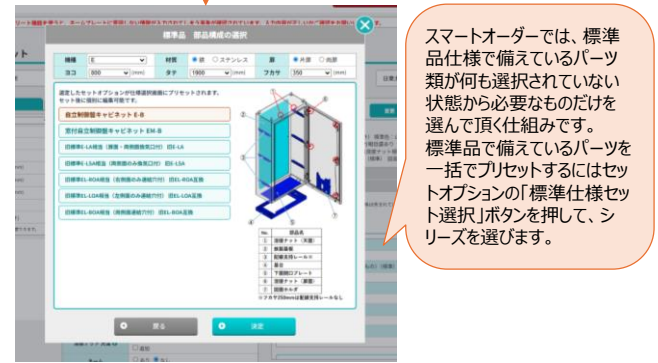
② スマートオーダー シリーズ選択/品名記号入力



③ スマートオーダー 基本仕様入力



④ スマートオーダー 組替・オプション選択

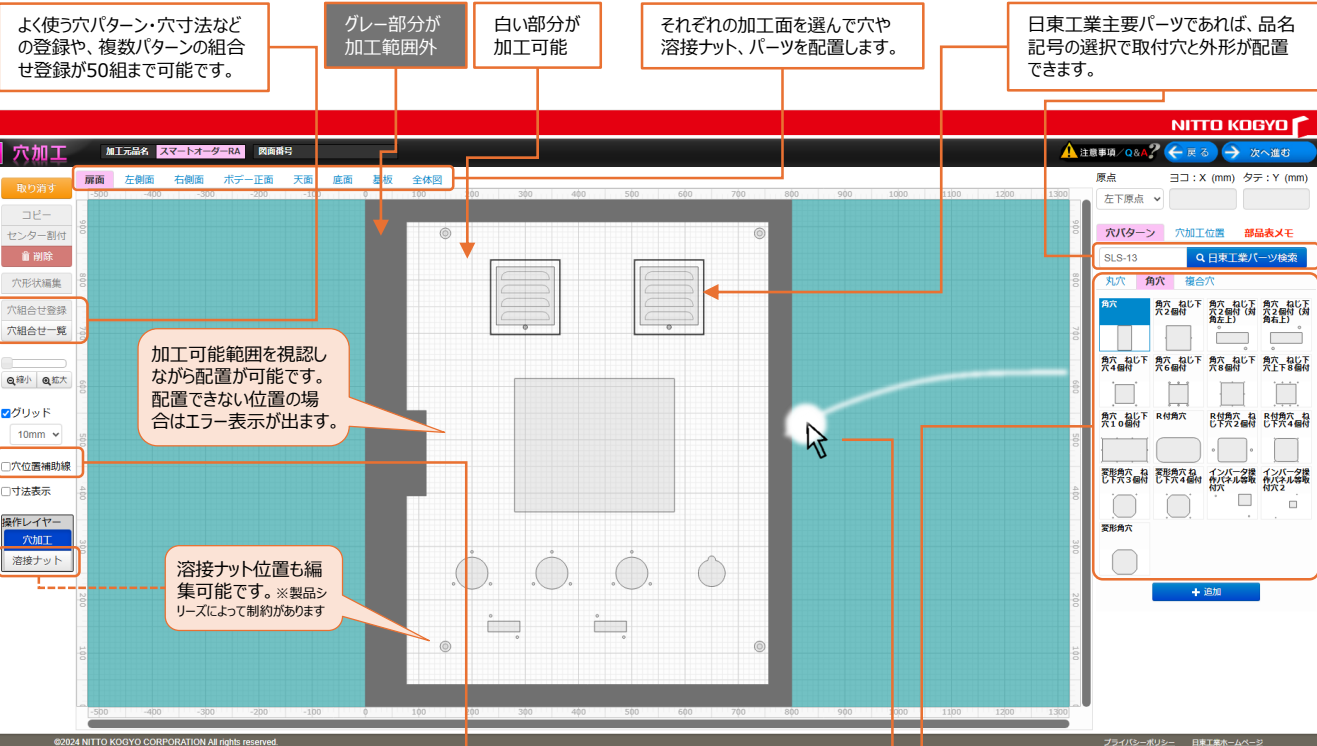


スマートオーダーでは、標準品仕様で備えているパーツ類が何も選択されない状態から必要なものだけを選んで頂く仕組みです。標準品で備えているパーツを一括でP/リセットするにはセットオプションの「標準仕様セット選択」ボタンを押して、シリーズを選びます。

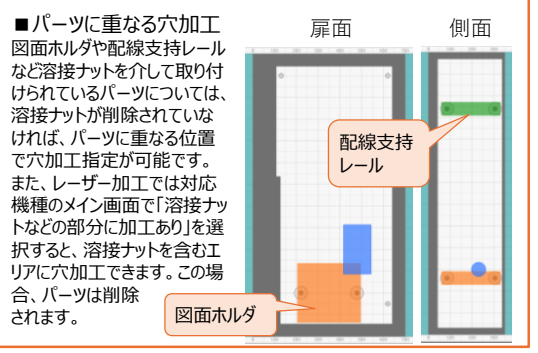
標準品に穴加工 メイン画面 (品名記号・塗装色・ネームプレート)



■穴加工配置画面 (スマートオーダー/標準品穴加工共通) 溶接ナットの位置もこの画面で指定します。CAD知識が無くても、簡単に穴加工指定ができます。加工できない位置には配置ができないようになっています。



ピアス穴など画面で視認しにくい極小穴の位置を特定できるように穴位置補助線を表示することができます。確認したい穴を選んで(直接選択できない場合は「穴加工位置」から選択)穴位置補助線をクリックします。

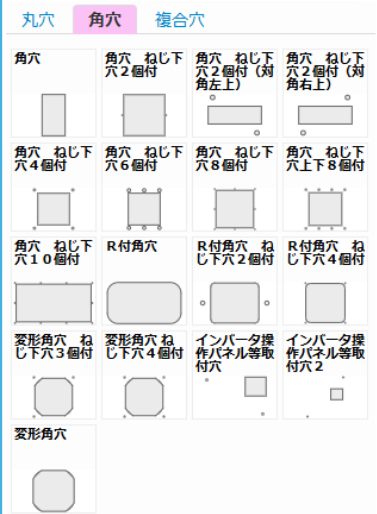


■鉄製基板へのタップ加工
 レーザー穴加工ではM3、M4、M5 (M5は基板板厚t1.6に加工不可)が指定可能です。スマートオーダーではM3、M4、M5に加えて、バーリングタップM6が指定可能です。タップ加工は塗装後に行います。本体へのタップ加工は対応していません。また、ブラボックスへのマシニング加工では、基板への穴加工に対応していません。

■穴数の上限
 本体外観には100パターンまで配置可能です。パターンの数でカウントするため、複数穴で構成されている穴パターンも1パターンとカウントします。鉄製基板には90個まで配置可能です。基板へは複数穴で構成されるパターンが指定できないため、個数でカウントします。

穴パターンはドラッグ&ドロップで簡単に配置できます。配置後にも位置や寸法は編集できます。

■配置可能な穴パターン
 用意されている穴パターン以外は作図できません。穴組合せ登録機能を使って、複数パターンの組み合わせを作成して登録することができます。※マシニング加工の場合、鉄製基板の場合はパターンの種類が限定されます。



■ピアス穴
 レーザー光を瞬間的に照射して形成する針穴状の貫通穴です。お客様で追加する際のドリル用下穴として利用できます。キャビスタでは穴同士の最小間隔を2.5mm以上としており、この制限により本来必要な穴径を配置できない場合の代替手段として使用できます。穴径はレーザー穴加工の場合でφ0.4~0.8程度、スマートオーダーの場合でφ1程度です。

